



2021年4月9日

各位

会社名 株式会社チームスピリット
 代表者名 代表取締役社長 荻島 浩司
 (コード: 4397 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役 戦略企画担当 山下 康文
 兼 コーポレート担当
 (TEL. 03-4577-7510)

2021年8月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は最近の業績動向等を踏まえ、2020年10月13日に公表いたしました2021年8月期通期(2020年9月1日～2021年8月31日)の業績予想について、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 2021年8月期通期業績予想の修正(2020年9月1日～2021年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,150	百万円 260	百万円 260	百万円 130	円 銭 8.03
今回修正予想 (B)	2,880 ～2,930	110 ～140	110 ～140	55 ～70	3.39 ～4.31
増減額 (B - A)	△270 ～△220	△150 ～△120	△150 ～△120	△75 ～△60	
増減率 (%)	△8.6 ～△7.0	△57.7 ～△46.2	△57.7 ～△46.2	△57.7 ～△46.2	
(ご参考) 前期実績 (2020年8月期)	2,445	285	292	255	15.81

2. 修正の理由

2021年8月期は、成長戦略の準備を完了させ攻めに転じるための1年と位置づけ、ERPのフロントウェア市場のリーダーとなるために、エンタープライズ市場(注1)及びミッド市場(注2)にフォーカスし戦略の最適化を進めております。

エンタープライズ市場に向けては、大企業のERPフロントウェア領域システムのリプレース需要を確実に捉えるため、2021年3月1日に「TeamSpirit EX」の本格販売を開始し、同市場向けのマーケティング、営業、導入サポート体制を強化し、ミッド市場に向けては、営業、導入サポート、カスタマーサクセスの体制の強化と最適化、既存プロダクト「TeamSpirit」の機能強化を進めております。

第1四半期連結累計期間の売上高は、新型コロナウイルスの影響を織り込んだ当初計画に対してほぼ計画通りで着地しました。第2四半期連結累計期間の売上高については大口のスポットサポート売上が計上できたことで概ね想定通りの着地となりましたが、ライセンス受注高に関しては、大口の追加ライセンス商談が新型コロナウイルスの影響で来年度に延伸となり、想定していた受注計画を下回りました。また、下半期に獲得を見込んでいた大口の新規ライセンス商談も大幅に長期化することが見込まれ、本年度中の計上を見込むことができなくなりました。これにより、当初計画した通期売上高予想の達成が非常に困難となり、その計画を見直す

ことといたしました。また、費用面についても見直しを行い、一部費用を圧縮しリカバリーを図りましたが、将来の成長に不可欠な投資は当初の計画通り実行する予定であるため、通期の利益予想に関してもその計画を見直すことといたしました。

以上の結果、通期の業績予想につきましては、売上高 2,880 百万円～2,930 百万円（前年同期比 17.8～19.8%増）、営業利益 110 百万円～140 百万円（同 61.5～51.0%減）、経常利益 110 百万円～140 百万円（同 62.4～52.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益 55 百万円～70 百万円（同 78.5～72.6%減）へと修正を行っております。

下半期は営業人員を増加してエンタープライズ市場向けの営業を本格展開し、見込み案件の受注確度を高めるとともに、マーケティング活動を強化し、本年度中に獲得する ARR（注3）の最大化を目指してまいります。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大の影響については引き続き注意が必要と考えており、今後さらに感染が拡大し経済への影響が深刻化した場合、当社グループの業績予想・事業計画にも影響を及ぼす可能性があります。

（注1）エンタープライズ市場：従業員 1,000 人以上の大企業を対象とした市場

（注2）ミッド市場：従業員 100～999 人の中規模企業を対象とした市場

（注3）ARR：対象月の月末時点におけるライセンス契約金額の月額を 12 倍して算出した額であり、Annual Recurring Revenue の略

以 上